

パレートの効率性基準

パレートの基準を用いると、効用の測定に関する難問を解決しなくても、資源配分の効率性を判断することができる。しかしこの基準は、配分の公正性公平性を判断する基準にはならない。

I. 資源配分の効率性基準

A. 資源配分の変更による「パレート改善」—— パレート優越な配分への移行

1. 誰も悪くならない（効用が低くならない。）
2. 少なくとも一人が良くなる（効用が高くなる。）

B. パレート効率性

1. パレート改善の余地がない。
2. 誰か一人を良くしようとする、他の誰かを悪くしなければならない。

II. 交換経済での効率的な配分 —— 消費の効率性の問題

A. 交換経済の意味

1. 生産は行われない。
2. 交換される財サービスとその量は定まっている。

B. パレート効率的な資源配分： エッジワースのボックス・ダイアグラムによる説明

1. 無差別曲線の接点
2. 契約曲線（contract curve）

III. パレートの基準の特徴

A. 難問を回避

1. 効用の大きさを測ることができるか。
2. 異なる人の効用の大きさを共通の単位に換算できるか。

B. 弱い判断基準

1. 複数の効率的な配分
2. 公正，公平の判断不可

参考文献

教科書．第 9 章，第 2 節．